

## 審議会等の会議結果報告書

【担当課】 八ヶ岳総合博物館

|          |   |       |    |
|----------|---|-------|----|
| 会議の名称    | 平成24年度 茅野市博物館協議会  |       |    |
| 開催日時     | 平成25年3月27日(水) 午後1時30分～3時30分   |       |    |
| 開催場所     | 茅野市八ヶ岳総合博物館 研究室   |       |    |
| 出席者      | 浜篤委員長、佐藤礼子副委員長、篠原敬博委員、仙石喜一委員、浅川清志委員、河西允人委員、福田勝男委員、両角徹生委員、名取陽委員<br>沖野外輝夫専門部会長、北澤和男副専門部会長<br>牛山英彦教育長、小池沖磨生涯学習部長、鶴飼幸雄文化財課長、小林深志尖石縄文考古館文化財係長、中村浩明尖石縄文考古館考古館係長、田村健伸長官守矢史料館長、若宮崇令八ヶ岳総合博物館長、大谷勝己八ヶ岳総合博物館係長、矢崎  |       |    |
| 欠席者      | 花沢芳江委員、関塚正嗣委員、原田頼子委員、藤森栄子委員   |       |    |
| 公開・非公開の別 | (公開)・非公開  | 傍聴者の数 | 2人 |
| 議題及び会議結果 |   |       |    |
| 発言者      | 協議内容・発言内容(概要)   |       |    |
|          | 1 開会<br>2 教育長挨拶<br>3 協議事項<br>(1) 専門部会の経過について<br>(2) 各館の平成24年度主要事業報告について<br>(3) その他  |       |    |
| 牛山教育長    | お忙しいところ、ありがとうございます。ご存知のように茅野市には博物館が3つあり、20年以上経過している。20年の歩みの中で博物館のあり方を考えなければならない時期に来ている。20年間の歩みを振り返った時、いかに博物館に大勢の人に来ていただくか、運営のほうに重点を置いてきたのは反省点。博物館が博物館としての任務、役割を考えなければならない。市民の生涯における一助に機能しなければならない。専門部会で審議していただいて共通して出てきたことの1つに考古館では市民学芸員、博物館では市民研究員がある。入館者が多ければそれで良いのではなく、市民にとってどんな博物館であるか考える時が来た。それぞれの立場から忌憚のないご意見をお願いします。 |       |    |
| 大谷博物館係長  | 協議会を公開することで進めていく。   |       |    |
| 浜委員長     | 協議<br>(1) 専門部会の経過について<br>大きく分けて協議は2つある。専門部会の博物館のあり方についての経過について。それと、各館からの報告について。まず、専門部会からお願いします。   |       |    |
| 沖野専門部会長  | 資料により説明。<br>途中で劇場型展示、携帯端末と出てきたが、どこに行けば何が見られる  |       |    |

|                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| <p>浜委員長<br/>北澤副専門部会長<br/>浜委員長</p> | <p>かというような展示、館内に留めないで地域に出ていく展示が必要。科学教育センターについては博物館の展示の内容と相補的な関係になるので、学校教育の中でどういうふうに使われるかを含めて学校教育との連携を深めていくことも大事。一番大きな課題として企画運営会議を早急に作るのがあるのではないかと。学校教育との連携については、校長会で館長が意見を述べられるような形で参加できるような、そして、学校にも専門的な先生がいるのでそれを活かして専門委員会を作るのもいいのでは。</p>   |
| <p>福田委員</p>                       | <p>一般展示についての補足をお願いします。<br/>資料により説明。<br/>専門部会で何回も協議されてきた。かつて本も読めない、学校でも教えてもらえない、博物館で勉強するというような経験があって、この博物館ができたときにもそういう雰囲気があった。しかし、時代の変化で、子どもたちは本も読める、テレビも見れる、パソコンもある、わざわざ博物館に行かなくてもよい時代になった。それでは、博物館はどんな働きをしなければいけないのか。それまでは博物館は資料収集、展示が主な仕事だったが、調査・研究が抜けていた。建つ前はやっていたが建ってから抜けてしまっていた。いかに市民参加ができる博物館かが叫ばれている。一匹の動物、それがいることによって賑わっている所もある。市民がいかに多く博物館に関わって、博物館へ行って何かしたいと思うような博物館ができると良い。そういう面で考えると問題は色々出てくるが、委員の皆さんから質問・意見あれば出していただきたい。</p> |
| <p>浜委員長</p>                       | <p>現在、生物多様性の問題が言われている。実際には環境のほうで進めていくのだが、こういう展示をできるのは今、博物館しかない。そういう展覧・教育もして欲しい。</p>   |
| <p>仙石委員</p>                       | <p>ミヤマシロチョウは今講堂で展示してもらっているが、部屋の関係で片付けなければならない。できたらずっと展示できればよい。</p>  |
| <p>沖野専門部会長</p>                    | <p>「5 課題と今後の検討」について説明してほしい。天文のことについて。</p>   |
| <p>若宮博物館長</p>                     | <p>館長が天文専門なのでそれを活かしていきたい。科学教育センターにつけるか、館内に可能なスペースがあるか考えていきたい。できれば天文スペースは館内にあるほうがよい。</p>   |
| <p>仙石委員<br/>浜委員長</p>              | <p>北部中学校にある望遠鏡は良いものなので、博物館に持ってこれるのも良い。北部中学校にあっても良いが、博物館ではより身近に簡単に子どもたちや来館者に見せられるなら教育の足がかりになるとよい。さらに高度に勉強したいとなった時に、持ってこることができなければ北部中学の望遠鏡を使えれば。</p>  |
| <p>仙石委員<br/>浜委員長</p>              | <p>そうすると、講師が揃っていないと無理なのでは。<br/>館長が言ったようにプラネタリウムを入れると入館者がだいぶ増えるのではないかと。諏訪南中学校にプラネタリウムがある。ものすごい人気で、近くの公民館の行事でも使っていた。医師会や校長会でも使用されていた。子どもたちだけでなく、一般の人たちにも人気だった。何か一つの展示だけでも大勢の人を引き付けることは可能。博物館のプラネタリウムを見て次に北部中学校の望遠鏡を見るというように連携してやってもよい。プラネタリウムをやるのが博物館を活性化させる一つのポイントになるのでは。</p>  |

|          |  |
|----------|--|
| 両角委員     | は。<br>北部中学校には天体望遠鏡はあるが、大勢の人を入れるのは無理。やつがねホールに移せばよい。整備していつてもらったらありがたい。子どもだけでは安全面でも不安があるので、大人にも来てもらいたい。   |
| 名取委員     | 植物のほうをしている過程で、自然植物分野で博物館の設立にも関与したが、20年くらい前、博物館ができた時、構造的にもよいものができたと思ったが、その新鮮な驚きが20年の流れの中で、情報量が多くなり生の自然に触れる機会も増えたことにより、新鮮さが褪せてきた。実際の自然を通してという面をどう繋いでいくか、専門委員会でもそれぞれの分野でも人々の要求にそぐわなくなってきたという答申になった。最終的には人がどう関わっていくか。最初の感動を繋げていくという点で人と人との繋がりをどう作っていくか。端的には、学芸員に繋がる人的な組織、それに通じる感動という博物館の使命を感じた。  |
| 浜委員長     | 今、地震のことも各地区でやっている。避難訓練など。ここは大きな地震が襲うような所だが、実際に市民がそういう所を見学するのはできるか。   |
| 北澤副専門部会長 | 地震が起きるに当たっては、諏訪は日本列島ができた断層に密接に関わっている。構造運動で変わってきている地形も出てきているので、歴史的なことも併せて考えていくには諏訪は市民に関心を持ってもらえる場所がたくさんある。八ヶ岳を中心に展示してきたので、八ヶ岳、霧ヶ峰、西山を考えた展示をしていけたら。地形、特にフォッサマグナの西の糸静線の断層崖をトータルで見た日本の誕生から現在までの変わってきている状況を入れながらの研究成果を入れていった展示。   |
| 浜委員長     | 入笠の植物とか、プラネタリウムとか地形観察会とか、結構市民が参加してくれるのでは。  |
| 篠原委員     | 望遠鏡に関して、北部中学校に一回見学に行ったことがあるが、博物館に移して館が運営するほうがよいのでは。地震に関して、河内先生の資料もあるので、それを活用して展示するのもよいのでは。   |
| 浜委員長     | 北部中学校に望遠鏡を作った時は、文化施設を一所にまとめないという方針があった。  |
| 篠原委員     | いいと思って行っても天候で見られない時もある。条件が絞られる。  |
| 河西委員     | 市民研究員、市民学芸員の養成、位置付けはどうなっているのか。産業の関係で農業の人が多からどんなふうを考えているか。  |
| 若宮博物館長   | 市民研究員については、できることからやる。現在募集中。新年度から植物、菌類、野鳥、陸水、実験工作の5分野についてどれか選択して勉強していただくという形でやっていく。それぞれに専門の先生をお願いしている。植物は名取先生を中心に、諏訪教育会の植物の先生にも協力していただく。陸水は信大の花里先生、実験工作は理科大の木村先生。1ヶ月1回くらいのペースで集まって活動して力をつけていただく。1年の内に3回ほど講演会を開く予定。博物館はどういうものかということも勉強してもらいながらそれぞれの分野の研究もしていただく。博物館について学ぶ講座を3回、毎月の活動7回くらいを出席してもらって市民研究員として、企画運営委員会を作ってそこで承認式をする。広報ちのにも載せて募集している。 |
| 沖野専門部会長  | 河西委員から農業のほうが多いということだが、農業についての映像も   |

|  |  |
|--|--|
| <p>河西委員<br/>若宮博物館長</p>                                       | <p>見れる、例えば寒天だと作業の工程の映像化とかそういうものも考えていきたい。企画運営会議でそういうものをどうやって市民協働という形を作っていくか考えたい。</p>  |
| <p>浜委員長<br/>若宮博物館長</p>                                       | <p>市民研究員は認定してもらったら何か義務は生ずるのか。<br/>義務はないが、講座の手伝いとか展示の解説をお願いすることもある。必ずそれをやってくださいというのではない。<br/>紀要は。<br/>そういう方が1年間調査とか研究したことをまとめて紀要に載せて報告する。活動展でもこんな研究してこんな成果があったということも発表したい。3年間はとりあえず5分野。3年経って振り返って、これはなくてもよいとかこれはあったほうがよいなど検討していく。</p> |
| <p>両角委員</p>  | <p>学校のほうから。博物館に来易くするというのも考えている。学校では気軽に学校に地域の方に来ていただいて話を聞くというのもやっている。是非、そういう所にも学芸員の方にも来ていただく、ということもやっていきたい。博物館に行けばもっと見れるよとなってフィードバックしていく。</p>   |
| <p>若宮博物館長</p>  | <p>力の発揮場所として、そういうこともやっていきたい。出前授業も博物館のアウトリーチ的な活動としてやっていきたい。</p>   |
| <p>浜委員長<br/>福田委員</p>   | <p>学校とのつながりは大事にしていきたい。他には何かあるか。<br/>展示の仕方について。ミヤマシロチョウを知っている人はどのくらいいるか。八ヶ岳で発見された唯一の蝶。そういうことも入れてほしい。</p>  |
| <p>浜委員長<br/>沖野専門部会長</p>                                      | <p>他にはよいか。<br/>市民の研究を育てていって、それをどう繋げていくかが問題。子どもの理科離れから話が始まったが、博物館と学校の連携を大事にして、先生や子どもの理科離れを食い止める。興味を持たば理科は非常におもしろい。</p>  |
| <p>浜委員長<br/>沖野専門部会長<br/>浜委員長<br/>牛山教育長<br/>浜委員長<br/>浅川委員</p> | <p>校長会へ参加させてもらったり。<br/>なるべく情報のやりとりをする場が必要。<br/>校長会に博物館に来てもらえれば。そういうことはできるのか。<br/>十分できる。どんどん校長会にPRしてもらいたい。<br/>また何かあったら博物館へ。<br/>できることから着実にやっていくことが大事。</p>  |
| <p>(2) 各館の平成24年度主要事業報告について</p>                               |  |
| <p>浜委員長<br/>若宮博物館長<br/>浜委員長<br/>篠原委員</p>                     | <p>まずは博物館からお願いします。<br/>資料により報告。<br/>多彩な活動をした。質問・意見は。<br/>前にも話があったが、各地区の公民館活動でも博物館で減免させてもらったが、今は博物館で公民館活動はあるのか。</p>   |
| <p>大谷博物館係長<br/>浜委員長<br/>小池生涯学習部長<br/>浜委員長<br/>鵜飼文化財課長</p>    | <p>今はあまりないです。<br/>各地区の博物館活動で有料ではどうか。<br/>博物館活動は減免でいける。<br/>考古館も減免か。<br/>公民館活動で博物館を使う時は減免になる。</p>   |

|  |   |
|--|---|
| 篠原委員   | 年齢が上がってくると体育系はできなくなるので、博物館もいかなど思った。   |
| 浜委員長<br>鵜飼文化財課長  | 高齢者クラブはどうか。<br>それは減免ではないと思う。高齢者の方が公民館事業として公民館活動に組み込んでもらってくれば減免になる。  |
| 浜委員長<br>若宮博物館長   | これは大事に育てていきたいという事業はあるか。<br>1年間様子を見させていただいたが、少ない人数でよくこなしているなと感じた。博物館として活動はよくやっているが、博物館として見たときに資料収集や研究についてはバランスが悪い。もっとバランスのとれた活動をしていきたい。  |
| 浜委員長<br>鵜飼文化財課長<br>浜委員長<br>中村考古館係長<br>浜委員長                     | 来年の人員は。<br>今年柳川君が異動で来たので頑張ってもらっていると思う。<br>考古館お願いします。<br>資料により報告。<br>何か聞きたいことはあるか。<br>社会科の先生方が子どもたちを連れてきて、本物を見ながら先生が説明をしている。それはいいこと。先生が事前に来て学芸員から説明を受け、そして先生が子どもたちに指導をする。来ない時はスライドや写真を使ったりすると思うが、行けば本物がある。これはすごい資料。上諏訪中学校にいた頃、歩いてここまで見学に来た。多くの学校の見学があるのはいいこと。考古館として何か困ることはあるか。 |
| 中村考古館係長<br>浜委員長<br>田村史料館長<br>浜委員長<br>鵜飼文化財課長<br>浜委員長<br>田村史料館長 | 人がほしいです。<br>守矢史料館お願いします。<br>資料により報告。<br>前宮の管理は史料館がやっているのか。<br>お宮でやっていて市ではない。<br>前宮のほうが本宮よりも古いがほっとかれている感じがする。<br>臨時職員が写真を撮っていて、前宮から始まって細かな説明をしている。リピーターがたくさん来るのだが、臨時職員の説明がとてもよいと褒められた。ガイドブックも好評。   |
| 仙石委員<br>鵜飼文化財課長  | 鎌倉街道はどうなっているのか。<br>上社から前宮、前宮から安国寺の先にかけて、歴史的な環境がいいところ。西山のほうも史跡を巡るようなコースを整備したいという話もあった。諏訪市がお宮から高部まで整備をして遊歩道を作っている。それを繋げる整備は教育委員会ではできないので、都市計画課が中心となって高部と安国寺で会ができればいい。   |
| 仙石委員   | 4～5年前、小池春夫さんが会をやっていたが、拡幅すると昔の面影がなくなるのでは。  |
| 鵜飼文化財課長  | 学術的なことは曲げないように、地域の史跡や文化財を使って整備しようという教育委員会でも応援したい。   |
| 浜委員長<br>鵜飼文化財課長<br>浜委員長  | 文化財審議委員のほうでもやっているのか。<br>文化財審議委員会には文化財の指定や管理をやってもらっている。<br>茅野の観光。八ヶ岳、縄文はPRされているが、上社などはPRが足りないのでは。  |

篠原委員

仙石委員

鵜飼文化財課長

浜委員長

篠原委員

鵜飼文化財課長

篠原委員

浜委員長

大谷博物館係長

佐藤副委員長

整備するのはいいが観光で壊してほしくない。

小池さんがやったのは本当にいじらないようにということ。

歴史を活かした散策路を整備したいというのが眼目の話。

前宮の本殿の一番上は伊勢神宮の材料。

あれは昭和7年の建て替えの材料をもらった。仮面の女神はいつ国宝になるのか。

今年のうちになってくれれば嬉しいが。

地元で盛り上げるのは大事。

全体的にはどうか。では、連絡があればお願いします。

前回の報告書など確認していただいて何かあれば1週間以内くらいで博物館にご連絡していただきたい。この協議会は任期が2年ということで今日が最後になる。2年間ありがとうございました。

ありがとうございました。

～午後3時30分 会議終了～